

佐世保工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	文献講読
科目基礎情報					
科目番号	0130		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	演習		単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	物質工学科		対象学年	5	
開設期	前期		週時間数	前期:2	
教科書/教材					
担当教員	平山 俊一, 城野 祐生, 長田 秀夫, 渡辺 哲也, 山崎 隆志, 村山 智子, 田中 泰彦, 越村 匡博, 森山 幸祐, 嘉悦 勝博				
到達目標					
1. 英文献の検索方法を修得する。(A3) 2. 専門分野の英文献を読むために、適切に英和辞書や各種ツールを使うことができる。(C4) 3. 英語に関する基礎事項を理解している。(C4) 4. 必要な専門英語を使うことができる。(C4) 5. 専門分野の英文献の内容が大筋でわかる。(C4)					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1 (到達目標1)	研究に必要な英文献を探すことができる	英文献の検索をすることができる	英文献を検索できない		
評価項目2 (到達目標2, 3)	各種ツールを使い英単語を理解できる	各種ツールを使い英単語をほとんど理解できる	各種ツールを使うが英単語を理解できない		
評価項目3 (到達目標4, 5)	専門英語を使い、英文献を理解できる	専門英語を使い、英文献をほとんど理解できる	専門英語をが分からず、英文献が理解できない		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 A-3 学習・教育到達度目標 C-4 JABEE b JABEE d-2 JABEE e JABEE f					
教育方法等					
概要	卒業研究に従事する各専門分野に関係の深い、外国語の文献を読解し、理解する能力を養う。				
授業の進め方・方法	予備知識：英文法の基礎および物質工学系専門科目の知識 講義室：各教員研究室 ・座学形式・輪読形式などで授業を進める。 ・内容確認のために課題を出す。 この科目は学修単位科目のため、事前・事後学習としてレポートを実施します。				
注意点	評価方法：英文献の検索方法 (A3)および文献の訳文 (C4)より評価し、それぞれ60点以上を合格とする。 佐世保高専 教育目的 2), 4) JABEE対応学習・教育到達目標A-3,C-4 JABEE基準1(2) b,d-2,e オフィスアワー：各担当教員のシラバスを参照				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
前期	1stQ	週	授業内容	週ごとの到達目標	
		1週	インターネットを利用した文献検索	インターネットを利用して文献を検索する方法を理解できる。	
		2週	授業概要説明		
		3週	触媒化学および無機化学等に関する英文献	触媒化学および無機化学等に関する英文を理解できる。	
		4週	有機合成反応に関する英文献	有機合成反応に関する英文を理解できる	
		5週	熱電変換材料に関する英文献	熱電変換材料に関する英文を理解できる。	
		6週	微生物による有用物質生産に関する英文献	微生物による有用物質生産に関する英文を理解できる	
		7週	蛋白質立体構造に関する英文献	蛋白質立体構造とイントロン情報に関する英文を理解できる。	
	2ndQ	8週	植物バイオテクノロジーに関する英文献	植物バイオテクノロジーに関する英文を理解できる。	
		9週	粉体プロセスに関する英文献	粉体プロセスに関する英文を理解できる。	
		10週	電気化学に関する英文献	電気化学に関する英文を理解できる。	
		11週	生体触媒反応に関する英文献	生体触媒反応に関する英文を理解できる。	
		12週	医療用材料に関する英文献	医療用材料に関する英文を理解できる。	
		13週	レポート作成	英文献を読んでレポートを作成できる。	
		14週	レポート作成	英文献を読んでレポートを作成できる。	
		15週	レポート作成	英文献を読んでレポートを作成できる。	
16週					
評価割合					
	態度	レポート	合計		
総合評価割合	50	50	100		
基礎的能力	0	0	0		
専門的能力	50	50	100		
分野横断的能力	0	0	0		